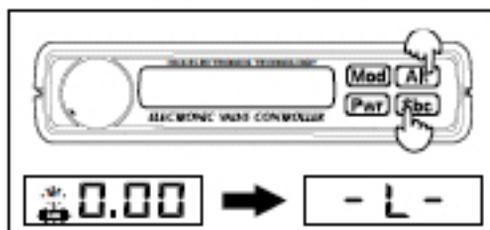
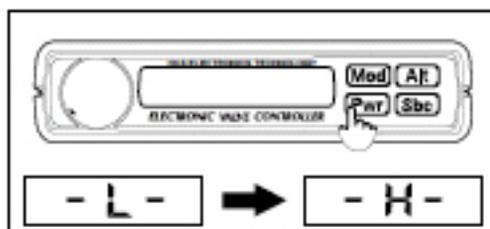


## 初期学習モード (ノーマル過給圧が確認できない場合：達成計がない等)

- 必ず助手席の人が操作してください。
- 2回の走行は、同じ条件(同じギア、回転数等)で行ってください。
  - ・異なった条件のもとでは初期学習を行うことができません。
- エンジンの回転数毎の過給圧特性を学習するため、できるだけ低い回転数からできるだけ高い回転数まで走行してください。



- (1)ボリュームを左へいっぱい回してからエンジンを始動してください。
- (2)初期設定モードのときに **Alt** と **Sbc** を同時に押してください。
  - ・ピーッと音がして、表示が左図のように切替わります。
- (3) **Pwr** を押して、パワーOFFにしてください。



- (4)車両を走行し、初期学習を行うギアにシフトアップしたところで **Pwr** を押してパワーONにしてください。
  - ・シーケンシャルターボ車の場合は、セカンダリターボが過給し始めたところで **Pwr** を押してパワーONにしてください。

- (5)最大過給圧がかかるように、できるだけ高いギアで、できるだけ低い回転数から走行してください。
  - ・ピーッと音がして、表示が上図のように切替わったら1回目の初期学習が終了です。
  - ・1回目の初期学習が終了したときのエンジン回転数をタコメーターで確認して覚えておいてください。
  - ・1回目の初期学習が終了したらアクセルオフしてください。



- (6)エンジンの回転数が下がり、1回目の初期学習を開始した回転数になったら2回目の走行を開始してください。
- (7)1回目の初期学習が終了したときのエンジン回転数まで走行した後、アクセルオフしてください。
  - ・ピーッと音がして、表示が左図のように切替わったら初期学習終了です。

- (8)初期学習が正常に行えなかった場合(表示が“-L-”または“-H-”から変化しない場合は、(4)～(7)または(6)～(7)を繰り返してください。
- (9)1回目の初期学習終了後に1回目の初期学習からやり直したい場合には、“-H-”が表示されているときにパワーOFFにし、(4)～(7)を繰り返してください。
- (10)初期学習終了後に初期学習をやり直したい場合や、車両の仕様が変わった場合は、リセットを行ってから(2)～(7)を繰り返してください。

### 参考

- ・初期学習の2回目はEVCが過給圧を上げるように制御するため、1回目よりも最大過給圧が上がります。
- ・初期学習終了後は、オートアジャスト機能(3ページの“8. オートアジャスト機能の切替え”参照)が無効になっています。